

大学が「人材育成」をここまで進化させている。受け入れる企業も変わらなければ！

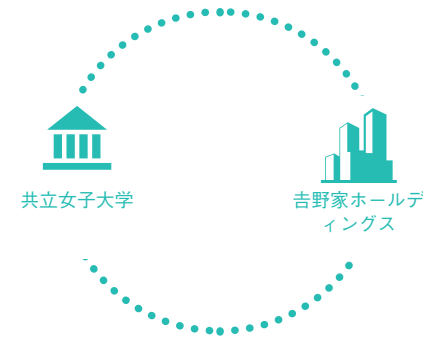
吉野家HD人材開発室 室長 山崎 裕之氏

組織開発を目的に、複数の大学と連携プロジェクトを推進



専任講師 岩城 奈津先生
組織開発コンサルタント。リーダーシップ、組織行動論を専門とする

共立女子大には素直な学生が多い。そのいいところを活かしながら、どんな小さな問題も見過ごすことなく、自分の意見をしっかりと伝える人になってほしい！



総合表現ワークショップ

学生と社会人が共に学び、共に成長するリーダーシップ開発 PBL

企業の課題に取り組むビジネスコンテスト形式のPBL。学生たちのグループワークに社会人も参加して、リーダーシップを学ぶ授業を行っている。

2019.4- ▶

リーダーシップを発揮する仕組みを学ぶ

リーダーシップとは何か、目標設定、振り返り、論理思考、メカニズム思考、など、リーダーシップを発揮するためのスキルを学ぶ。「質問会議」もその一つ。



2019.9- ▶

PBL 課題提示

協力企業からの課題が提示される。今年の提携企業は吉野家HD。課題は「女性を含む多様なお客様が利用する『吉野家』を実現するための戦略」。



2019.9- ▶

PBL グループワーク

いくつものステップを踏んでチームごとに提案をまとめ、ポスターセッションも行う。教員、上級生LA、企業の関係スタッフも参加。



2020.1 ▶

PBL プレゼンテーション

13回目に最終プレゼンテーションを実施。優秀賞などを決める。



2020.2 ▶

振り返り

最終2回分の授業では、全プロセスを振り返り、自分のリーダーシップ目標を達成できたか、今後どのようなリーダーシップを発揮していくかを確認する。



看護学部2年 森谷 一愛さん

1年次に受講。今年は授業をサポートするLAとして活躍



リーダーシップを学んだことで、他の授業のグループワークや実習でも率先して動けるようになりました！



企業の課題に学生たちがチームで取り組むPBL（課題解決型学習／Project based Learning）

What's that Project?



「自分らしいリーダーシップとは何か」を探求する少人数制・全15回・PBL形式の授業。商品やサービスの提案など、協力企業からの課題解決に取り組みながら、チームの状況やメンバー構成に応じた協働のあり方を学び、それぞれの学生が持ち味を生かした「自分らしいリーダーシップ」を養うのが狙い。グループワーク、レポート作成、ポスターセッションなどを通じて提案内容を練り上げ、プレゼンテーションに臨む。授業運営には、教員と共に上級生の学生アシスタント（LA）が参加し、重要な役割を担っている。

●参加団体・株式会社吉野家ホールディングス（以下、吉野家HD）

授業を担当する岩城奈津専任講師は、社会の変化に対応したリーダーシップのあり方に注目する。「本学が掲げるリーダーシップは、役職やカリスマ性によって特定の人物が発揮するものではなく、チームが目標に向かって進むときに、メンバー一人ひとりが、自分の得意な分野で発揮していくもの。提案することも、みんなの意見をまとめることも、チームの雰囲気盛り上げることも、すべてリーダーシップです。過去にリーダー

に提示した「若手が自発的に課題を解決しない問題」は「一人ひとりの責任が明確になっていない問題」と再定義された。「半年間のプロジェクトワークの中で社員たちが得る人材活用スキル、知識、経験は計り知れないものがあります」と語るのは吉野家HD・人材開発室の山崎裕之室長。「社員たちは、社会の先輩としての知見を生かしつつ、どうやってチームを活性化させ、成果をあげようかと考えます。そして、教室でできることなら、自身のマネジメントの現場でもできるはずだ、と気づくのです」

経験のない学生や、周囲を引っ張るといった行動の苦手な学生でも「自分なりの方法でチームに貢献できる」ということを体験的に学ぶことで成長できます」

授業には、前年度に同じ科目を受講した上級生がLAとして参加する。企業や先輩たちの参加は、「自分たちもあんなふうになりたい、自分たちが学んでいることは、社会で役に立つんだ」という学生たちの自信につながり、やる気を高める好循環を生む。

選択科目として3年間続けてきたこのリーダーシップ教育は、来年開設予定のビジネス学部（仮称）の必修科目となる。新しいリーダーシップ教育を打ち出した共立女子大学は、今後も様々な企業との連携を強化しながら次世代を担う女性人材を育成していく。



共立女子大学

〒101-8437 東京都千代田区一ツ橋2-2-1
TEL: 03-3237-1354
http://www.keio.ac.jp/
家政学部、文芸学部、国際学部、看護学部、ビジネス学部（仮称・2020年4月開設予定、設置認可申請中。予定であり変更する場合があります）